

ケレンディアの費用対効果評価結果に基づく価格調整について

○ 費用対効果評価結果に基づく価格調整について。

ケレンディアについて、令和6年3月13日中央社会保険医療協議会において承認された費用対効果評価結果に基づき、以下のとおり価格調整を行う。

<費用対効果評価結果に基づく価格調整係数>

対象集団	比較対照技術	有用性系加算部分の 価格調整係数 (γ) ※1	営業利益部分の 価格調整係数 (θ) ※1	患者割合 (%)
2型糖尿病を合併する慢性腎臓病患者	標準治療	0.7	0.83	100

※1 本品は薬価収載時に原価計算方式で算定されていることから、以下の算式を用いて分析対象ごとの価格を算出し、それらを当該分析対象集団の患者割合等で加重平均したものを価格調整後の薬価とする。なお、本品は薬価収載時に有用性系加算が適用されていない。

$$\text{価格調整後の薬価} = \text{価格調整前の薬価} - \text{有用性系加算部分} \times (1 - \gamma) - \text{営業利益部分} \times (1 - \theta)$$

<価格調整後の薬価>

No	銘柄名	成分名	会社名	規格単位	現行薬価	改定薬価	薬効分類	費用対効果評価区分	適用日※2
1	ケレンディア錠 10mg ケレンディア錠 20mg	フィネレノン	バイエル薬品 (株)	10mg1錠 20mg1錠	147.90円 211.60円	143.90円 205.80円	内219 その他の循環 器官用薬	H1 (市場規模が100 億円以上)	令和6年7月1日

※2 医療機関における在庫への影響等を踏まえ、価格調整後の薬価の適用には一定の猶予期間を設けることとする。